2017新春特集号

原裕代表取締役
環境・防災・維持管理を柱として今年も挑戦する

新年明けましておめでとうございます。

昨年も、火山噴火警戒レベル2以上の活火山が、北は北海道から南は九州までの広範囲に出されている。これらの火山活動に伴い、地震も全国で発生している。

また、進む温暖化現象に起因し、二酸化炭素が地球上に約二兆トンも蓄積されている事が報告されている。太平洋側での海面温度の上昇が台風の進路にも大きく影響を与えることになっている。パリ協定が発効されたが、まだまだ機能を発揮し効果が出るまでには時間がかかる予想だ。

我々も生活様式を変化させ対応する事が必要になるのではないか、特に道路・河川・斜面防災等の更なる国土強靭化を進めて行く必要性が迫られる。

5月17日には、㈱タナベ経営主催による「建設ソリューション成長戦略研究会」が弊社にて開催された。北海道から沖縄までの建設会社の社長ら約50人が参加された。多目的環境材料「ミラクルソル」の工法開発の背景と目的から特性まで「経営戦略と研究マネージメント」要は、市場があるか・質の良い技術か・利益が出るか」をスピード感を持って、効果的に検証することが重要である事を90分間プレゼンをした。

5月末には羽田空港において3池の水質浄化を実施した。

8月25日には、福岡市のアクロス福岡に於いて、第19回の主要都市での「ミラクルソル技術講習会」を実施した。会場200名定員に対して約210名の参加申込みがあった。国土交通省から加治憲祐氏による「最近の公共事業の動向について」私が「多目的環境材料ミラクルソルの環境負荷低減技術」荒木宏之教授(佐賀大学低平地沿岸海域研究センター長)が「ミラクルソルの魅力」水環境から異分野まで」について約4時間の講演を行った。九州各県から、また山形、東京、大阪、和歌山からも参加いただいた。「良かれと思う事は、継続し努力を積み重ねることにより人生は飛躍すると信じている。」

9月7日には熊本市において(一社)全国地質調査業協会連合会主催の第27回「技術フォーラム2016」熊本が開催され、山下貴が「緊急地すべりの応急抑制対策工とその効果について」を発表した。

10月6日には、金沢市において(一社)斜面防災対策技術協会主催による「第19回斜面防災対策技術フォーラム'16」in金沢が開催され、古河祐一が「地すべり活動中における横ボーリング工の施工事例」について発表した。

若手社員を業界内で発表させることで度胸が付き、全国各地の方々と会うことで成長していく。社員の「毎日の創意工夫が大きな飛躍を生み出す。」そして、達成感が新たなエネルギーに変わるものと信じて社員教育に当たる。

10月7日は、国土交通省主催による建設マスターと建設ジュニアマスターの顕彰式が東京都港区に於いて開催された。久保浩一と石原誠太郎がその栄誉に浴した。斜面防災対策技術協会からは、全国で二人のみであった。この二人は現場で汗をかいて、真面目に努力を積み重ね、地道に技術力を向上させ、誠実に顧客に対応した結果である。人生の糧として何事もあきらめずにやり抜けば、すべて成功に繋がるだろう。是非、次に続く社員が出る事を期待している。

今年は、2月3日に農林水産省で農林水産省と建設トップランナー倶楽部主催による「第2回 建設業と農林水産業の連携シンポジウム」が開催される。私が「ミラクルソルによる有明海再生と間伐材利用の軟弱地盤対策」で発表することが決定している。

昨年も佐賀県地質調査業協会、ミラクルソル協会、斜面防災対策技術協会主催による「継続教育」のCPD単位取得を目的として佐賀県を主体とし、合計6回の技術講演会と2回の現場見学会を実施した。中でもミラクルソル協会主催による2月18日に開催した「環境と防災と計測技術」をテーマとして、AM9時からPM5時まで一日をかけて講演会とパネルディスカッションを行った。CPDの単位は8ポイントになり、これまでになかった方法で実施し、出席者の95%の方々が来年も是非行ってほしいとの要望があった。今年も2月23日に「環境と防災と維持管理」のテーマで唐津市にて行う事を計画している。ビジネスモデルの変革により付加価値を付ける。そして新しい技術を学び・見る事によって顧客に対する提案力が向上し、ひいては人材育成と業界への貢献に繋がる。

クリスタルバイオ(水産用ろ過材)を全国に発信し続けた事もあり、これまでに国外13カ国と国内では約3000㎥に達成しつつある。魚介類の陸上養殖が増えてきているのは間違いない、これも温暖化現象のひとつかも知れない。この温暖化現象を我々建設業・建設関連業全体で抑制する方法を探り、効果があると思われる事は実施に移していくことが大切である。

今年も、建設会社として主に斜面防災対策に対して取り組み、国土の保全は基より、県民の財産と安全安心に寄与していきたい。

また、ミラクルソルによる工法・技術開発を行い更なる情報発信を行って顧客からの信頼を勝ち取り、さらなる飛躍の年にしたい。

日本建設技術㈱から2人の受賞者

建設マスターを受賞
久保浩一氏

1983年3月県立唐津工業高校卒。同年4月に日本建設技術㈱(当時は岸本ボーリング)に入社。52歳。

ボーリングに携わって34年。卓越した技術および技能、若手技術者の育成に寄与した功績が認められてボーリング工の建設マスターを受賞した。「私が受賞して良かったのか。思いがけないことで驚いている」と喜びの気持ちを語る。

父親が土木関係の仕事に従事していたため、その影響もあってこの仕事に就いた。「ボーリングとはどんなものかと興味を持ち、軽い気持ちで就職したが、今では地下の地層を見て的確に地質の状態を判断することが醍醐味」と笑う。

現場に携わる者として心がけていることは開口一番に「安全第一」と答え、「どの仕事も同じだが、長年やっていると慣れが生じ、これくらいはと安易に考えてしまうことが一番怖い」と、初心の気持ちを常に大切にしている。

後輩の育成については「やはり3Kなどと言われるこの業界へ入職する若者は少ない。思い通りの仕事はなかなか無いと思うが」と嘆く一方、数々の現場経験から新入社員には「自分が若い時に教わったこの仕事の基本である『耳で聞き、目で見る』を実践の中で教えていきたい」。基本に徹することの大切さを教え、その過程の中でこの業界の魅力を伝えたいと考えている。

好きな言葉は「何とかなるさ」。短い言葉だが、34年間培ってきた経験の中で得た仕事に対する確信を感じる。

建設ジュニアマスターを受賞
石原誠太郎氏

1996年3月県立唐津工業高校卒。同年4月日本建設技術㈱入社。39歳。

2015年、国土交通省が優れた若手技能者を対象に創設した青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(建設ジュニアマスター、39歳以下)。2年目となる今回は全国で106人、佐賀県内で2人が受賞した。「自分の受賞は場違いでは。でも嬉しい」と話す。

この業界に入った動機について「ボーリングという仕事に関する知識がなかったので不安だった。でも特殊な仕事がしたかったと振り返る。今では「21年間仕事をする中で、事務的なこと、現場の監理や作業など、全ての経験が財産」と自分が選んだこの業界にやりがいを感じる。

「数年前に任された現場の工期が短く、施工工程も過密で、ハードな工事だった。不安を抱え、過酷な状況の中で検査前日まで仕事を行ったと当時を振り返り、「その現場で県から81点の評価点を頂いた。その経験が心に残る貴重な財産となっている」と語る。

2013年に大学を卒業して就職した人の約3割が3年以内に勤め先を辞めている。「確かに1−2年で辞める人が多い。自分も同じく、1年でこの仕事は続かないと思った」と前置きし、「我慢が大事。短い年数では悪い所しか見えない。5年経つと何か見えてくる。その苦労は後から分かる」と自身の経験をもとに若者へのメッセージを重ねた。

若手の入職者が減少し、技術や技能の継承が課題となる中、21年間一筋にボーリングの仕事を続けた功績が認められた今回の受賞。今後の目標を「この人に任せれば大丈夫と言われる担当者になりたい」と述べた。

石原氏が施工を担当

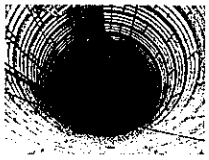
鬼ヶ鼻地区地すべり防止

集水井の深さ約57メートル

建設ジュニアマイスターを受賞した石原誠太郎氏は現在、佐賀中部農林事務所発注の鬼ヶ鼻地区地すべり防止事業工事(多久市多久町中野)を担当している。集水井の新設工事を行うもので、集水井の深さが約57㍍もあり、非常に難易度の高い工事となる。

工事概要は集水井工1基、集水ボーリング9本。集水井工の土質は礫質土51・7㍍、軟岩4・3㍍で、ライナープレートにより施工する。φ50㌢の集水孔を1456カ所加工し、補強リング59個やパッキング約100本なども使用する。工事期間は2017年3月15日まで。

石原氏は「地元対策や施工協議をしっかり行い、無事故無災害で完了させたい。これまでの経験を生かし、現地条件を把握した上で、より現地に適した施工技術で取り組んでいく」と話す。



▲約36m掘進した集水井の施工状況(2016年12月6日現在)

新年明けましておめでとうございます

建設資材・ボーリング機材・化成品全般

ミラクルソル材料
・水質浄化用ろ過材
・軽量盛土用資材
・緑化用部材
・他

斜面安定工法部材
・AAWパネル
・KKE受圧板
・クロスビーム
・他

ボーリング資材
・コア箱、標本箱
・鉄軸ピン
・ボーリングケース
・他

化学工業薬品
・有機薬品
・無機薬品
・硝酸材
・他

鋼材
・ライナープレート
・H型鋼
・鋼板
・他

鋼管
・Gパイル
・STPG
・STK
・他

Minato Cosmetics
くつ用・くつ用防臭剤
浴室用防臭剤
ミラクルキッチナー
レモングラスのさわやかな香り
ミラクルアロマ芳香剤

株式会社 ニッケン
代表取締役 原裕 (工学博士)
〒847-1201 唐津市北波多大字徳須崎1412番地5
http://www.nkg-net.co.jp/nikken/ nikken@nkg-net.co.jp
TEL:0955-64-2164(代) FAX:0955-51-2193
支店・営業所 東京・福岡・長崎・沖縄　会員 佐賀県地質調査業協会・ミラクルソル協会
ISO14001 JQA-EM2584